

## 今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
  - (1) 与党陣営の動き  
～GOLDの外準組み込みで中銀混乱～  
..... 1p
  - (2) 野党陣営の動き  
～カプリレス元知事 新グループ結成～  
..... 3p
  - (3) 外国の動き  
～米 相互関税、TPS失効停止～  
..... 5p
  - (4) 今週、来週の主なイベント  
..... 6p
  - (5) 債券の元利不払い状況  
..... 7p
2. 米国とベネズエラの貿易取引  
～相互関税の影響考察～  
..... 8p
3. ベネズエラの貿易取引  
～における米国の割合～  
..... 10p

## 債券指標の動き

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減  
..... 12p

## カントリーリスク分析



(写真) Shutterstock

“トランプ政権 貿易赤字是正のため各国の輸入に課税”

### 一週間のまとめ (2025年3月30日～4月5日)

#### (1) 与党陣営の動き ～GOLDの外準組み込みで中銀混乱～

3月24日 マドゥロ大統領は、ベネズエラで製造された GOLD のインゴットをベネズエラ中央銀行へ引き渡した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1195](#)」)。中央銀行へのインゴット引き渡しについて、マドゥロ大統領は「外貨準備を引き上げるための政策」と説明している。

本件を受けて、中央銀行内で混乱が生じているようだ。

「Bloomberg」が内部関係者から得た情報によると、中央銀行の役員2名が辞任を表明したという(Sohail Hernández 中銀第1副頭取、Iliana Ruzza 国際オペレーション部門役員)。

## POINT

マドゥロ政権 ベネズ  
エラで鑄造された  
GOLDを中央銀行の外  
貨準備に組み込み。

国際スタンダードに準  
じていないとして中銀  
役員2名が辞任を表明  
か。

マドゥロ政権 トラン  
プ政権の圧力の中、米  
国から移民送還を継  
続。

記事によると、役員2名が辞任した理由は前述の外貨準備へのインゴット組み込みが理由だという。

役員2名は、今回の対応について「国際スタンダードに基づいたプロセスで引き渡しが行われていない」と主張。本件に異議を唱え、辞任を表明したという。

丁度、ベネズエラで鑄造された GOLD の中央銀行組み込みが発表されたのと同じ日に「[ウィークリーレポート No.399](#)」にて「2024年の外貨準備の動き」について考察を行っていた。

このレポートでも触れているが、中央銀行はこの4年間、年平均8トン超の GOLD を売却し、現金化して現金ショートを防いでいる。

しかし、中央銀行が売却できるとされる GOLD は着実に減少しており、筆者の試算では残りは21トン。今のペースで GOLD の売却を続けると3年もたない計算になる。

GOLD の枯渇を防ぐため、イレギュラーなプロセスだとしても GOLD を外貨準備に組み込む必要があるところまで追い込まれているということだろう。

なお、政治面では引き続き米国からの移民送還が続いている。

3月30日(日曜)に175人、4月3日(木曜)に511人(313人+198人)が送還された。

トランプ政権は、スペインの「Repsol」、イタリアの「Eni」、フランスの「Maurel & Prom」などに5月27日までにベネズエラとの取引を停止するよう指示した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1197](#)」)。インドの「Reliance」に取引停止を指示したかは不明だが、トランプ政権は「ベネズエラ原油を輸入する国に対して、米国との取引時に25%の関税を課す」と発表。この発表を受けて、Reliance の原油輸入に影響が出る懸念がある。

このようにトランプ政権は、マドゥロ政権に対して高圧的な態度を続けているが、前述の取引停止の期限が延期されることを期待し、トランプ政権の機嫌を損ねないために移民送還を継続しているということだろう。

## POINT

**カプリレス元知事、選挙参加を志向する野党グループ「Red Decide」結成を発表。**

**2015年の国会議員選を大勝に導いた立役者、2018年の大統領選の主要な野党対抗候補などが合流。**

### (2) 野党陣営の動き ～カプリレス元知事 新グループ結成～

4月2日 「第一正義党 (PJ)」のエンリケ・カプリレス元知事は、新たな野党グループ「Red Decide (民主主義の市民擁護ネットワーク)」の結成を発表した ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1199」](#))。

Red Decide は、選挙参加を支持する野党政治家らで構成されるグループ。

現時点で Red Decide に参加する政党は、「新時代党 (UNT)」、PJの一部グループ、「ベネズエラ社会主義行動党 (MAS)」。5月25日に予定されている州知事選・国会議員選への参加を望む主要野党系の政党が中心になっている。

他、2015年12月の国会議員選で主要野党が大勝した当時、野党連合のトップだったヘスス・トーリアルバ氏や、元与党幹部で現在は中立系ジャーナリストとして活動しているウラディミール・ビジェガス氏が含まれる。

また、2018年に行われた大統領選でマドゥロ大統領の対抗候補として出馬したヘンリー・ファルコン元ララ州知事も Red Decide へ参加することが決まった。



(写真) @Hcapriles

“新たな野党グループ Red Decide 結成を発表”

## POINT

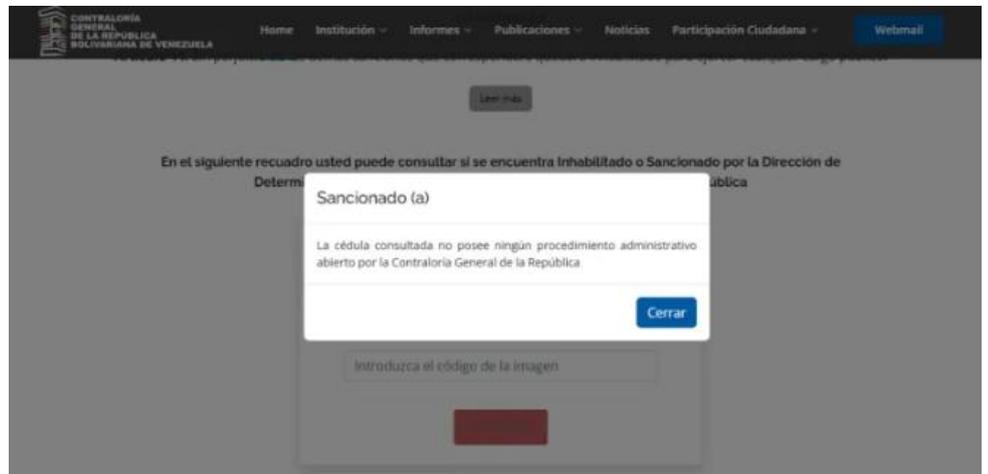
**カプリレス元知事 5  
月25日の選挙に出馬  
できる可能性が浮上。**

**MCM 氏を中心とする  
野党主流派 (PUD) と  
Red Decide の勢力争  
いが勃発。**

そして、今回の州知事選にはエンリケ・カプリレス元知事がミランダ州知事選に出馬する説が浮上している。

カプリレス元知事はミランダ州知事時代に、知人の会社に優先的に公共事業を落札させたとの罪で、15年間の公職権停止措置を受けている。これにより、本来であれば2032年まで選挙に出馬できないはずだが、既に公職権停止措置が解除された可能性が指摘されている。

公職権停止を命じた行政監督庁では、同措置を受けた人物を検索することが可能だが、検索結果からカプリレス元知事の名前が削除されている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1199](#)」）。



(写真) Al Navio

“行政監督庁のサイトでカプリレス元知事のステータスを検索した結果、「該当人物は行政監督庁の管理措置を受けていない」と表示される”

なお、カプリレス元知事の動きについて、主要野党の主流派および現在野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏 (MCM) のグループは快く思っていない。

Red Decide の結成発表当日、主要野党主流派を中心とする「統一プラットフォーム (PUD)」は投票を呼び掛ける動きについて「盲目の投票」と批判。5月25日の選挙に投票するべきではないとのスタンスを改めて表明した。

現在の野党主流派が選挙ボイコットを掲げる中で、Red Decide がどこまで投票を促進できるかは不明だが、野党の勢力図を変える可能性がある動きであることは間違いないだろう。

## POINT

トランプ政権 貿易赤字の是正のため世界各国に相互関税を発動。

ベネズエラからの輸入は15%の関税。

米カリフォルニア判事、トランプ政権にTPSの失効差し止めを命令。移民局、この決定に従うとしてTPS失効は停止される。

## (3) 外国の動き ～米 相互関税、TPS失効停止～

4月2日 トランプ大統領は、「米国が不利な関税条件で各国と貿易をしており、これが原因で貿易赤字が拡大している」と主張。貿易条件の不利を是正し、貿易赤字を解消するために一部の国に関税を課すと発表した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1199](#)」）。

ベネズエラも対象に含まれており、ベネズエラには15%の関税を課すことになっている。

なお、ほとんどの中南米・カリブ海諸国は10%課税となっており、同地域で10%よりも高い関税率が設定されたのは、ベネズエラ以外だと、ニカラグアの18%、ガイアナの38%、フォークランド諸島の41%だけだった。

相互関税がベネズエラ経済にどの程度の影響を与えるかについては、本稿「[2. 米国とベネズエラの貿易取引 ～相互関税の影響考察～](#)」および「[3. ベネズエラの貿易取引における米国の割合](#)」で分析している。

ベネズエラ不法移民に関する新たな動きとしては「TPS失効の取り消し」が挙げられる。

2025年2月 トランプ政権は、ベネズエラ不法移民の米国での滞在と労働を認める「一時滞在資格（TPS）」の延長を停止すると発表していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1174](#)」）。

これを受けて、25年4月に約35万人、同年9月に約25万人のTPSが失効し、該当者は米国からの出国を余儀なくされていた。

しかし、3月31日にカリフォルニア連邦裁判所のEdward Chen判事は、トランプ政権に対してTPS失効の差し止めを命令。

「米国移民局（USCIS）」は、この決定に従うと発表。TPS失効は停止された。

## (4) 今週、来週の主なイベント

3月31日 与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」のディオスダード・カベジヨ副党首は、5月25日に予定されている州知事選に出馬する与党候補を発表した ([「ウィークリーレポート No.400」](#))。

野党は「Red Decide」と「PUD」が選挙参加について方針が分かれており、票が伸び悩む可能性がある中、与党の推薦候補が票を伸ばし圧勝する可能性は高い。

ポイントとなる州は「ミランダ州」「スリア州」。

スリア州は UNT のマニユエル・ロサレス党首が野党の主要候補として出馬することは間違いないだろう。

ミランダ州はカプリレス元知事が出馬できるとすれば一乱起きる可能性がある。

表： 3月30日～4月5日に起きた主なイベント

日付		内容
3月	30日 日	マドゥロ政権 米国から不法移民175人を送還
	31日 月	与党連合GPP 州知事選の推薦候補を発表
4月	1日 火	米国判事 TPS失効の取り消しを命令
	2日 水	カプリレス元知事 新野党グループ「Red Decide」結成を発表 トランプ政権 相互関税を発表、ベネズエラの税率は15%
	3日 木	メキシコ経由で米国不法移民313人を送還 ホンジュラス経由で米国不法移民198人を送還
	4日 金	
	5日 土	

表： 4月6日～4月13日に予定されている主なイベント

日付		内容
4月	6日 日	
	7日 月	
	8日 火	
	9日 水	
	10日 木	
	11日 金	
	12日 土	
	13日 日	

**(5) 債券の元利不払い状況**

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（4月4日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,450.2	3,945.2
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,543.8	4,038.8
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	979.2	2,579.2
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,440.0	3,440.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,387.5	3,387.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	560.0	1,560.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	675.0	2,175.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	1,054.7	2,554.7
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,764.3	7,964.3
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	306.6	606.6
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	768.5	1,520.5
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,868.8	5,868.8
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,775.0	6,775.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	656.3	1,906.3
グレースピリオド満了未払					31,092	22,520.9	53,612.9
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,025	6,525.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,250	7,250.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,616	4,010.0
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,194	5,193.8
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	3,060	6,060.0
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,209	4,209.4
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,097	2,596.9
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,440	4,440.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,145	2,828.8
グレースピリオド満了未払					27,078	16,035.9	43,113.7
	電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	386.8	1,036.8
グレースピリオド満了未払					650.0	386.8	1,036.8
合計					58,820	38,944	97,763

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

## POINT

### 2. 米国とベネズエラの貿易取引 ～相互関税の影響考察～

「1. (3) 外国の動き」で紹介した通り、トランプ政権はベネズエラとの貿易取引に対して15%の関税を課すと発表した。

相互関税は、重要鉱物、エネルギー、エネルギー製品などが対象外になる見通しと報じられており、米国によるベネズエラからの原油・石油製品の輸入は相互関税の対象外になると思われる。

#### エネルギー品目は相互

#### 関税の対象外になる見

#### 通し。

上記の前提において、今回トランプ政権が発表した相互関税がベネズエラにどの程度、経済的なインパクトを与えるのかを International Trade Center (元データは米国貿易当局) の公表している貿易実績を基に考察したい。

下表は、米国によるベネズエラからの輸入実績(2020~24年)をまとめた表である。

表：米国のベネズエラからの主な輸入品(2020~24年)

(単位：千ドル、%)

	品目	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	前年	
							割合	同期比
1	原油・石油製品	15,446	960	2,226	3,467,976	6,009,355	95.1	73.3
2	肉・魚等の調整品	40,915	68,061	83,543	59,203	61,904	1.0	4.6
3	有機化学品	0	47,980	83,589	57,594	53,891	0.9	△ 6.4
4	魚・甲殻類等	55,962	62,926	65,150	55,431	51,798	0.8	△ 6.6
5	飲料、アルコール等	12,128	18,948	16,811	7,761	18,534	0.3	138.8
6	電気機器・音声機器等	17,010	39,485	70,586	53,471	17,870	0.3	△ 66.6
7	分類不能の品目	5,306	7,826	11,422	10,960	16,687	0.3	52.3
8	ココア・同調整品	3,288	10,427	13,693	6,168	15,313	0.2	148.3
9	コーヒー・茶、香辛料	148	6,359	20,432	1,945	10,475	0.2	438.6
10	穀物、穀粉等の調整品	3,066	4,079	4,269	6,260	10,459	0.2	67.1
	その他	25,906	52,790	77,654	97,561	50,382	0.8	△ 48.4
	合計	179,175	319,841	449,375	3,824,330	6,316,668	100.0	65.2

【参考】原油・石油製品以外	163,729	318,881	447,149	356,354	307,313	4.9	△ 13.8
---------------	---------	---------	---------	---------	---------	-----	--------

(出所) International Trade Center (ITC)

## POINT

**2024年、米国のベネズエラからの輸入総額は約63.2億ドル。**

**うち、原油・石油製品以外の輸入は約3.1億ドルで、全体の5%未満。**

**米国 「魚介類（エビ、太刀魚など）」、「有機化学品」、「ラム酒」「カカオ豆」「コーヒー豆」などの輸入が主。**

同データによると、2024年の米国のベネズエラからの輸入総額は約63.2億ドルだった。

このうち95.1%に相当する約60.1億ドルは「原油・石油製品」である。

つまり、トランプ政権がベネズエラに課した15%の相互関税は「原油・石油製品」を除く約3.1億ドル（輸入総額の4.9%）に適用されることになる。これを見ると、全体として相互関税の影響は限定的と言えそうだ。

とは言え、品目によっては影響は決して小さくない。

「原油・石油製品」の次に米国がベネズエラから多く輸入している品目は「肉・魚等の調整品」で2024年は約6190万ドル。

同品目を更に細かく確認すると「甲殻類、軟体動物などの加工品（調製、保存に適する処理をしたものに限る）」となっている。ベネズエラは米国にエビを輸出しており、エビに処理を加えた製品を輸出していると思われる。

エビの養殖業はベネズエラの成長産業の1つで、生産拡大のために投資が集中している分野でもある。現地のエビ養殖業者にとっては悩ましい問題と言えそうだ。

次に輸入額が大きいのは「有機化学品」で、24年は5389万ドル。

2020年の輸入はゼロだが、それ以前から米国向けの輸出が続いていた品目であり、相互関税により影響が出る可能性がある。

次は「魚・甲殻类等」で約5180万ドル。

具体的には「太刀魚」「きはだまぐろ」「エビ」などの輸入が多い。

他にベネズエラからの輸入増加が著しい品目として「飲料・アルコール」（前年比138.8%増）は「ラム酒」。「ココア・調整品」（同148.3%増）は「カカオ豆」。「コーヒー・茶・香辛料」（同438.6%増）は、「コーヒー豆」。

これらの品目の輸出に従事するベネズエラ企業は、新たな輸出先を早急に開拓する必要に迫られるかもしれない。

## POINT

**米国のベネズエラからの輸入(原油・石油製品除く)は2024年の輸入総額全体の11.1%(暫定値)。**

**「魚の加工品」「通信ケーブル」「コーヒー豆」「ベーカリー類」「ラム酒」は米国向けの輸出依存度が高い。**

### 3. ベネズエラの貿易取引における米国の割合

次に、ベネズエラの貿易取引における米国の割合について確認したい。

表は次ページの通り。

なお、2024年についてはまだ年間の貿易統計が出揃っていない国が多々ある。従って、2024年の合計額は暫定値という前提で確認されたい。

2024年の各国のベネズエラからの輸入額は約136.6億ドル(暫定値)。うち「原油・石油製品」の輸入額は約108.8億ドル。輸入総額全体の79.7%を占める。この108.8億ドルのうち米国の輸入が占める割合は55.2%と半分超を占めている。

また「原油・石油製品以外の品目」の輸入額は27.8億ドルで、輸入総額の20.3%を占めている。

そして、米国の「原油・石油製品以外の品目」の輸入額は約3億731万ドル。「原油・石油製品以外の品目」の輸入総額の11.1%を占めている。

トランプ政権が、ベネズエラからの輸入(原油・石油製品を除く)に15%の関税を課す場合、「原油・石油製品以外の品目」の11.1%が影響を受けることになる。

「ベネズエラからの輸出」という視点で見ると、品目別で米国向けの輸出依存度が高いのは「肉・魚等の調整品(エビ加工品が主)」で、同品目の97.5%は米国向けとなっている。

他、「電気機器・音声機器(具体的には通信用ケーブルが多い)等」も43.8%は米国向け輸出が占めている。

「コーヒー・茶・香辛料(コーヒー豆が主)」は同70.1%。

「穀物、穀粉、でん粉等の調整品(具体的には、パン、ペーストリー、ケーキ、ビスケット等が主)」は同81.9%。

「飲料・アルコール等(ラム酒が主)」も同27.5%と比較的米国向けの輸出依存度が高い。

これらの品目は、相互関税の影響を大きく受ける品目と言うことが出来そうだ。

表：各国のベネズエラからの主な輸出品（2020～24年）

（単位：千ドル、％）

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	前年	
							割合	同期比
1	原油・石油製品	4,320,933	1,228,920	1,235,015	4,688,528	10,881,378	79.7	132.1
	米国	15,446	960	2,226	3,467,976	6,009,355	55.2	73.3
2	鉄鋼	429,788	1,014,806	1,013,218	644,985	455,402	3.3	△ 29.4
	米国	0	609	1,038	323	117	0.0	△ 63.8
3	有機化学品	238,195	579,126	469,523	411,787	446,415	3.3	8.4
	米国	0	47,980	83,589	57,594	53,891	12.1	△ 6.4
4	魚・甲殻類等	244,309	305,433	357,704	397,306	348,900	2.6	△ 12.2
	米国	55,962	62,926	65,150	55,431	51,798	14.8	△ 6.6
5	アルミニウム・同製品	49,697	144,000	403,146	262,442	301,495	2.2	14.9
	米国	360	2,940	10,193	6,453	1,918	0.6	△ 70.3
6	鉱石、スラグ・灰	96,090	426,235	113,787	115,629	298,077	2.2	157.8
	米国	0	0	0	0	0	0.0	-
7	肥料	55,756	80,749	187,993	256,146	196,018	1.4	△ 23.5
	米国	0	0	0	0	0	0.0	-
8	銅・同製品	51,641	119,315	151,309	111,361	130,869	1.0	17.5
	米国	693	3,678	95	832	1,964	1.5	136.1
9	ココア・同調整品	37,777	47,051	46,012	47,209	105,904	0.8	124.3
	米国	3,288	10,427	13,693	6,168	15,313	14.5	148.3
10	飲料・アルコール等	72,238	102,699	113,009	78,417	67,433	0.5	△ 14.0
	米国	12,128	18,948	16,811	7,761	18,534	27.5	138.8
	その他	327,295	793,519	859,301	626,586	428,795	3.1	△ 31.6
	合計	5,923,719	4,841,853	4,950,017	7,640,396	13,660,686	100.0	78.8
	米国	179,175	319,841	449,375	3,824,330	6,316,668	46.2	65.2

**【参考】**

原油・石油製品以外	1,602,786	3,612,933	3,715,002	2,951,868	2,779,308	20.3	△ 5.8
米国	163,729	318,881	447,149	356,354	307,313	11.1	△ 13.8
肉・魚等の調整品	44,824	77,634	101,826	62,723	63,480	0.5	1.2
米国	40,915	68,061	83,543	59,203	61,904	97.5	4.6
電気機器・音声機器等	26,746	53,144	145,115	75,727	40,809	0.3	△ 46.1
米国	17,010	39,485	70,586	53,471	17,870	43.8	△ 66.6
コーヒー・茶、香辛料	5,913	8,857	33,845	7,483	14,936	0.1	99.6
米国	148	6,359	20,432	1,945	10,475	70.1	438.6
穀物、穀粉等の調整品	4,666	30,760	26,271	8,566	12,767	0.1	49.0
米国	3,066	4,079	4,269	6,260	10,459	81.9	67.1
分類不能の品目	7,626	10,349	12,334	11,699	17,286	0.1	47.8
米国	5,306	7,826	11,422	10,960	16,687	96.5	52.3

（出所）International Trade Center（ITC）※暫定値（2025年4月5日抽出）

## 4. ベネズエラ債券・経済指標の増減(4月4日時点)

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	16.55	18.55	17.55	△ 3.97
2018-II	13.625	2018/8/15	18.45	19.85	19.15	△ 6.93
2018	7	2018/12/1	14.1	15.5	14.80	△ 9.48
2019	7.75	2019/10/13	14.8	16.15	15.48	△ 9.37
2020	6	2020/12/9	13.8	15.25	14.53	△ 6.89
2022	12.75	2022/8/23	18.3	19.75	19.03	△ 7.42
2023	9	2023/7/5	16.25	17.7	16.98	△ 7.99
2024	8.25	2024/10/13	16.1	17.5	16.80	△ 8.57
2025	7.65	2025/4/21	16.6	17.6	17.10	△ 6.43
2026	11.75	2026/10/21	19.7	20.7	20.20	△ 4.94
2027	9.25	2027/9/15	19.05	20.4	19.73	△ 5.85
2028	9.25	2028/5/7	18.1	19.2	18.65	△ 5.21
2031	11.95	2031/8/5	18.95	20	19.48	△ 6.48
2034	9.375	2034/1/13	22.25	23.65	22.95	△ 3.57
2038	7	2038/3/31	17.25	18.45	17.85	△ 7.15
電力債 2018	8.5	2018/4/10	5.75	7.75	6.75	△ 37.64

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	95.9	97.7	96.80	△ 2.74
2021	9	2021/11/17	13.75	14.95	14.35	△ 7.12
P 2022	12.75	2022/2/17	14.8	16.1	15.45	△ 8.31
D 2022(N)	6	2022/10/28	10.75	12.65	11.70	△ 7.51
V 2024	6	2024/5/16	12.15	13.5	12.83	△ 12.76
S 2026	6	2026/11/15	12.25	13.55	12.90	△ 12.24
A 2027	5.375	2027/4/12	12.25	13.45	12.85	△ 12.88
2035	9.75	2035/5/17	13.6	15.05	14.33	△ 12.79
2037	5.5	2037/4/12	11.75	13.35	12.55	△ 13.00

	百万ドル	先週比
外貨準備	10,779	1.60

為替レート	ボリ/ドル	先週比
両替テーブル	72.19	3.77
並行レート	97.45	△ 4.08

(出所) Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolarparalelo\_Oficial

## 解説

トランプ大統領の相互関税発動など国際不安が加速する中、世界的にリスクオフの傾向がある。

この流れの中でベネズエラ国債、PDVSA社債も先週比で大きなマイナスとなった。

特にカラカス電力社債は先週比37.64%減と1週間で3分の1以上価格が下がった。

為替レートについて、先週末時点で並行レートは100ボリバル/ドルを超えていたが、今週はややボリバル高に推移。100ボリバル/ドルを下回った。

一方、公定レートは先週比3.8%増とボリバル安が進行。

両者のレート差は縮小したが、依然として大きな開きがあり、ベネズエラ経済の大きな不安要素となっている。

以上